



# 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 クリエイトメディック株式会社  
 コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(氏名) 佐藤 正浩  
 (氏名) 橋井 敦  
 配当支払開始予定日

TEL 045-943-2611  
 平成25年9月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,808	8.2	392	12.9	414	24.3	271	48.9
24年12月期第2四半期	4,443	0.3	348	△19.3	333	△20.8	182	△36.1

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 721百万円 (212.6%) 24年12月期第2四半期 230百万円 (△21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	28.26	—
24年12月期第2四半期	18.98	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	17,590	12,015	68.3	1,249.48
24年12月期	16,501	11,467	69.5	1,192.47

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 12,015百万円 24年12月期 11,467百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	18.00	33.00
25年12月期	—	16.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年8月5日)公表いたしました「業績予想と実績値との差異および剰余金の配当(中間配当)ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	2.9	862	16.5	858	△6.6	555	8.3	57.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無  
 (注) 詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	9,664,327 株	24年12月期	9,664,327 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	47,735 株	24年12月期	47,607 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	9,616,643 株	24年12月期2Q	9,616,739 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 9
(6) セグメント情報等 .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大胆な金融政策や経済政策を背景にした円安・株高の進行により、景気は徐々に回復してまいりました。

当医療機器業界におきましては、市場での価格競争は恒常的であり、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、より効率的な経営体制を目指して営業・開発・生産部門の組織変更を行いました。国内販売では、自社ブランド品の販売強化とOEM事業の新規受注を図る一方、海外販売では好調な中国での販売に注力してまいりました。また、利益面については円安のメリットもございましたが、海外工場での部資材内製化などによる原価低減、販売管理費の抑制にも努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上・利益は、前年同期と比較して増収増益となりました。

次に売上の概況を販売形態別に報告いたします。

#### < 自社販売 >

自社販売では血管系製品は減少しましたが、泌尿器系製品と外科系製品が売り上げを伸ばした結果、3,218百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

系統別の内訳では、泌尿器系はフォーリートレイキットを含むフォーリーカテーテル、腎盂バルーン、セフティカテ（自己導尿カテーテル）、採尿バッグなど全般的に販売数量を伸ばしました。

消化器系では、イレウスチューブの数量は順調に増加しましたが、胃瘻関連は4月発売の新製品を除き全般的に販売が伸び悩みました。

外科系では内瘻用カテーテル、内視鏡下手術関連製品、気管切開チューブが引き続き順調に増加しました。

血管系ではマイクロカテーテルが減少しました。

看護・検査系他ではドレープ系製品が減少しましたが、自動注腸装置・チューブや組織採取用の製品が順調に増加しました。

#### < OEM販売 >

OEM販売では血管造影関連製品の受注増加や大腸がん3D-CT検査関連製品の新規生産などにより895百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

#### < 海外販売等 >

海外販売等ですが、欧州では前年の在庫調整の反動で泌尿器系製品が大きく増加しました。また、中国での販売は血管造影カテーテルや泌尿器系製品を中心に大きく伸ばしました。その結果、海外販売等の売上は694百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の製品系統別の売上高は次の通りです。

泌尿器系製品の合計は	1,341百万円（前年同期比14.0%増）となりました。
消化器系製品の合計は	1,608百万円（前年同期比2.1%増）となりました。
外科系製品の合計は	538百万円（前年同期比0.8%増）となりました。
血管系製品の合計は	876百万円（前年同期比10.5%増）となりました。
看護・検査系他製品の合計は	443百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

利益は大幅に増加いたしましたが、これは自社販売、OEM販売、中国での販売が大きく伸びたこと、部材内製化による原価低減と円安効果が寄与したものでございます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高4,808百万円（前年同期比8.2%増）、売上総利益2,167百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益392百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益414百万円（前年同期比24.3%増）、四半期純利益271百万円（前年同期比48.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して1,089百万円増加し、17,590百万円となりました。これは、現金及び預金の増加344百万円、商品及び製品の増加161百万円、原材料及び貯蔵品の増加106百万円、ベトナムクリエートメディック有限会社の製造設備の取得により機械装置及び運搬具の増加322百万円が主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して540百万円増加し、5,574百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加179百万円や未払費用の増加164百万円が主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して548百万円増加し、12,015百万円となりました。これは、配当による利益剰余金の減少173百万円に対して、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加271百万円や為替換算調整勘定の増加421百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては平成25年2月12日の「平成24年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直し)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定額法へ変更しております。

当社グループのグローバル展開の進展を契機に、国内生産設備の稼働状況や今後の見通しについて検討した結果、長期的且つ安定的に稼働し、収益獲得に貢献することが見込まれることから、減価償却方法についてグループの会計方針を統一し、定額法を採用することが適切であると判断いたしました。

また、当社の保有する有形固定資産について使用実態等の調査、検討を行った結果、当第1四半期連結会計期間より一部の耐用年数を見直しております。

以上の変更により従来の方と比べて当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ15,181千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,826,337	3,171,182
受取手形及び売掛金	3,503,807	3,518,604
有価証券	709,925	909,968
商品及び製品	1,559,006	1,720,352
仕掛品	574,165	666,391
原材料及び貯蔵品	552,251	658,692
繰延税金資産	113,310	122,051
その他	156,462	161,111
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	9,994,266	10,927,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,092,423	2,230,625
機械装置及び運搬具（純額）	422,503	745,143
土地	1,485,088	1,485,088
リース資産（純額）	40,720	30,647
建設仮勘定	232,751	28,080
その他（純額）	128,117	154,586
有形固定資産合計	4,401,605	4,674,171
無形固定資産		
借地権	148,270	167,498
その他	28,000	25,483
無形固定資産合計	176,271	192,982
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439,700	1,283,085
繰延税金資産	350,790	357,897
その他	138,386	154,644
投資その他の資産合計	1,928,876	1,795,628
固定資産合計	6,506,753	6,662,782
資産合計	16,501,019	17,590,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,036,583	1,216,392
短期借入金	1,045,000	1,045,000
1年内返済予定の長期借入金	86,580	197,180
リース債務	19,206	17,258
未払法人税等	109,282	170,016
賞与引当金	30,803	32,803
役員賞与引当金	12,400	6,200
その他	481,062	633,948
流動負債合計	2,820,917	3,318,798
固定負債		
長期借入金	979,220	988,720
リース債務	23,550	14,921
長期未払金	—	9,175
退職給付引当金	1,022,074	1,046,303
役員退職慰労引当金	184,659	193,433
資産除去債務	2,982	3,014
固定負債合計	2,212,487	2,255,568
負債合計	5,033,404	5,574,367
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,527,011	8,625,644
自己株式	△34,381	△34,486
株主資本合計	11,440,387	11,538,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,274	46,970
為替換算調整勘定	7,952	429,883
その他の包括利益累計額合計	27,227	476,853
純資産合計	11,467,615	12,015,769
負債純資産合計	16,501,019	17,590,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,443,162	4,808,457
売上原価	2,357,693	2,640,539
売上総利益	2,085,468	2,167,918
販売費及び一般管理費	1,737,370	1,775,040
営業利益	348,098	392,878
営業外収益		
受取利息	3,747	6,213
受取配当金	1,943	2,273
為替差益	—	16,309
その他	8,174	11,462
営業外収益合計	13,865	36,258
営業外費用		
支払利息	9,375	7,655
手形売却損	150	—
為替差損	15,001	—
金利スワップ評価損	1,003	—
その他	3,003	7,128
営業外費用合計	28,534	14,783
経常利益	333,430	414,354
税金等調整前四半期純利益	333,430	414,354
法人税、住民税及び事業税	113,644	173,458
法人税等調整額	37,267	△30,838
法人税等合計	150,911	142,620
少数株主損益調整前四半期純利益	182,518	271,733
四半期純利益	182,518	271,733



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182,518	271,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	766	27,695
為替換算調整勘定	47,503	421,930
その他の包括利益合計	48,269	449,626
四半期包括利益	230,788	721,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,788	721,360
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	333,430	414,354
減価償却費	128,852	140,547
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,922	1,521
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,200	△6,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,347	24,228
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,149	8,774
受取利息及び受取配当金	△5,691	△8,486
支払利息	9,375	7,655
為替差損益 (△は益)	1,664	23,223
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,831	2,202
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△198,191	△238,580
仕入債務の増減額 (△は減少)	121,051	152,895
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,753	13,211
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25,906	10,178
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	129,686	115,762
その他	2,880	4,036
小計	500,785	665,324
利息及び配当金の受取額	5,867	8,685
利息の支払額	△9,134	△7,624
法人税等の支払額	△165,539	△112,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,978	553,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8,400	△47,200
有形固定資産の取得による支出	△306,172	△150,440
無形固定資産の取得による支出	△5,609	△264
投資有価証券の取得による支出	△300,489	△600
その他	15	△7,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△620,656	△205,727
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△271,028	—
長期借入れによる収入	993,100	—
長期借入金の返済による支出	△77,753	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,454	△10,234
配当金の支払額	△172,508	△172,761
その他	△16	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	459,339	△183,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,540	132,496
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	182,202	297,644
現金及び現金同等物の期首残高	3,637,454	2,897,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,819,657	3,195,280

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。